

10 特定金融会社等関係

別紙様式1 (ひな型)

(日本産業規格A4)

特定金融会社等登録簿縦覧申請書			
			年 月 日
〇〇財務(支)局長 殿			
縦覧の目的			
登録番号	特定金融会社等の商号又は名称	貸出	返却

上記特定金融会社等登録簿を縦覧したく、申請します。

申請者 氏 名 _____

住 所 _____

電話番号 _____

職 業 _____

貸出	時	分
返却	時	分

別紙様式2 (ひな型)

(日本産業規格A4)

特定金融会社等の登録状況に係る報告
(年 月 日 ~ 年 月 日)

財務(支)局

前回報告時の 登録件数 (A)	当期間中の異動状況		年3月(又は 9月)末現在の登 録件数A+B-C
	新規登録件数 (B)	登録廃止等件数 (C)	
件	件	件	件

登録番号 _____ 財務（支）局長第 _____ 号
商号又は名称 _____

2. 受入れ等の実績表

(1) 社債

(単位：億円)

受入年月日	回 号	受入額	償還日	借換えの状況	当初発行年月日

(2) CP

(単位：億円)

受入年月日	回 号	受入額	償還日	ロールオーバーの状況	当初発行年月日

(3) 規則第2条第1号による受入れ

(単位：億円)

受入年月日	受入額

(4) 規則第2条第2号イによる受入れ

(単位：億円)

受入年月日	受入額

(5) 規則第2条第2号ロによる受入れ

(単位：億円)

受入年月日	受入額

(記載上の注意)

1. 本表は、受入れの方法別に作成するものとする。ただし、該当がない場合は省略して差し支えない。
2. 記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して添付すること。
3. 社債の借換えのために発行する場合は、借換えの対象となった前回社債の回号及び発行代り金を社債償還に充てた額について、「借換えの状況」欄に記載（例、発行代り金10億円を第1回発行社債の償還に充てた場合：第1回（10億円））し、借換えの対象となった前回社債の発行日を「当初発行日」欄に記載すること。記載が困難な場合は、これに準じた記載であっても差し支えない（ただし、その内容を注記すること。）。
4. 発行する社債が転換社債である場合は、その旨を注記すること。また、当該転換社債が株式に転換された場合には、その状況を注記すること。
5. CPのロールオーバーのために発行する場合も同様に、ロールオーバーの対象となった前回CPの回号及び発行代り金をCP償還に充てた額について、「ロールオーバーの状況」欄に記載、ロールオーバーの対象となった前回CPの発行日を「当初発行日」欄に記載すること。記載が困難な場合は、これに準じた記載であっても差し支えない（ただし、その内容を注記すること。）。
6. 社債の発行等による貸付資金の受入れをその他の資金の受入れとの区別が困難な場合にあっては、社債の発行等による当該その他の資金の受入れを含んだ計数であっても差し支えない（ただし、その旨注記すること。）。